



精一杯の歌声を響かせた合唱コンクール

10月28日(月)文化発表会が行われました。午前中は体育館でのステージ発表、午後からは歌劇座での合唱コンクールと忙しい一日になりましたが、日頃の活動やこれまでの練習の成果をしっかりと披露することができましたね。見る側としても、学ぶことの多い一日だったでしょう。

合唱の練習を積み重ねたみなさんは、発表をするために多くの時間や苦労があることを知っています。結果だけでなく、当日までの過程がみなさんを成長させます。だからこそ、取り組みも含めた行事の中で得たもの、感じたことを大切にしてください。それを、これからの学校生活につなげていきましょう。

みんなの感想から その1

中学校に入学して初めての合唱コンクールでは納得のいく結果ではなかった。しかし、本番になるまでの練習では、みんなが「楽しく、みんなが納得のいく結果にする」という目標を目指して、毎日一歩ずつ前に進んでいたのがよかった。また、その練習の途中で、いきなり練習を中止したこともあったが、みんながなぜ中止することになったのかを考え、反省し、それを次にいかしていたので、合唱コンクールで1組は大きく成長したなと思った。

(1組 岩田 晴樹)

最初、どうしてもきれいなハーモニーをつくるのが出来なかったけれど、実行委員や責任者がみんなの心を一つにまとめてくれて、どんどんハーモニーが出来上がっていった。賞を取ることは出来なかったけど、自分の中では、一番楽しく頑張った、悔しさのない合唱コンクールだった。この合唱コンクールで、仲間の心が一つになって全力で何かをすると、すばらしい物になるという事を学んだ。ぜひこの学んだ事を生かして、これからの中学校生活もやっていきたい。

(1組 喜多 悠仁)



私は、リハーサル・練習のときに、“声出しも弱い”、“強弱がついていない”、“ふざけている”、“そろっていない”などのことで、何度も心配になったけど、本番の練習のときはすごくよかった！そして本番、みんな緊張していて、そわそわしていたけど、音程も結構あった。強弱もついてた。さびの盛り上がりもよかった！そして無事に優秀賞、ともに伴奏者賞もとれてすごくうれしかった。本当にありがとう！

(2組 今村 有稀)

合唱練習では、列ごとに歌う人と聞く人に分かれてお互いに意見を出しあっていたり、みんなで注意することを確認したりするなど、河並さんを中心に、みんなで積極的に練習して良いと思った。私は、他の上手な人が弾いている動画を見たり、夏休みをほとんど練習にあてたりするなど、一生懸命練習した。だからこそ、伴奏を弾き終わった時の達成感が大きかったし、伴奏者賞をもらえることが出来て、とてもうれしかった。ここまで練習するのは初めてで、この合唱コンクールでは、何かに熱心に打ち込んで努力すると必ず良い結果がついてくるということを学べたと思う。

(2組 柳澤 咲来)

初めての合唱コンクールで、一番最初に歌うのがすごく怖かったけど、今まで練習してきたことを考えながら歌うことができた。

練習したてのときは全然声が出なかったし、一体感も全くなって不安だったけど、実行委員とかまとめてくれる人のおかげで、自分も全力で声を出せるようになった。でも、人がそろわなくて、ソプラノの声が男性パートに負けて聞こえなかったりして、女子の中でも意見が合わないことがあったけど、頑張れた。

賞はとれなかったけど、全員で上手く歌えたから良かったし楽しかった。

(3組 青塚 心花)

初めての合唱コンクールで、最優秀賞をもらえたのが心に残っている。賞をもらえたのは、“伸ばす長さ”、“強弱”など、細かい点を練習したからだと思う。また、問題点を言えば直してくれたみんなの努力が大きかったと感じる。

ピアノ伴奏に関しては、伴奏者賞をもらえなかったのがくやしい。来年はもらえるように頑張っていきたい。また、2、3年生のような息のそろった合唱にしていきたい。

(4組 倉 にちほ)



初めてで何も分からない状態から、舞台上、みんなで歌いきれてうれしかった。

最初は、まとまらなかったり、音程がとりにくかったりしたけど、音楽の授業をするたび成長していてすごいなあと思った。

毎日朝と昼に伴奏・指揮の練習に行っていたけど、毎日2人とも来ているのは5組だけで、賞はとれなくてもほこらしく思った。来年は伴奏者賞をとれるように、みんなの歌に合わせて曲の良さをひきたてるような演奏をしたい。

(5組 大沢 りお)

今回の合唱コンクールでは最優秀賞には輝けなかった。だが、それ以上のことをこの合唱コンクールで学んだと思う。例えば、今まで3組には集中して物事に取り組むのは苦手だった。だが、合唱コンクールを通して大きく成長したと思う。

合唱コンクールで学んだ様々なことを、これからの部活動や勉強に活かしていけたらいいと思った。(3組 小高 佑誠)



合唱コンクールでは、やっぱり最優秀賞を取れたことが心に残りました。

最初の練習では、男子は責任者たちの言うことを聞かず、女子は声が小さくてまとまっていなかったけど、実行委員の人たちが改善点を見つけ、どんどんよくなりまとまっていて、日々成長していくのがとても感じられてよかったです。

最後に、最優秀賞と発表されたとき、みんな嬉しあえてとても嬉しかったです。

(4組 林 航平)

練習して協力の大切さを学びました。

また、自分は音痴なので、必死にふるさとのソプラノパートを練習しました。また、スピーチをかまずにはっきりと本番では言うことができ、うれしかったです。

本番では賞を取れなかったけど、皆で歌えて楽しかったです。(5組 飯田 暖果)

